

# 10000m記録挑戦競技会

## 競技注意事項

### 1. 規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2. 番組編成・競技日程について

本大会は11月14日(月)13時までに申告のあった欠場者を除いた競技者により再度番組編成を行う。

確定した競技日程および番組編成は11月16日(水)17時に関東学連ウェブサイトに掲載する。

大会当日、公式プログラムとあわせて番組編成を掲載したデイリープログラムを出場団体受付にて配付する。

### 3. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 主催者が指定している出場団体待機場所については、ブルーシートなどの設置を可能とする。荷物は各出場団体が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 3) 競技場内のすべての電源を、主催者の許可なく使用することは禁止とする。
- 4) 競技エリアおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みを厳禁とする。
- 5) 集団応援、メガホン・鳴り物等による応援は禁止する。また、個人においても声を出しての応援は禁止とする。
- 6) コンコース、リングロードでの自動二輪車、自転車等の車両での移動は厳禁とする。
- 7) 競技場内におけるテープ類での貼り付けは一切禁止とする。
- 8) 立ち入り禁止区域への立ち入りは厳禁とする。
- 9) トレーナー活動は、各団体の選手待機場所およびトレーナーステーション(諸室図参照)にて行うこと。

### 4. 練習について

練習は、室内練習場およびリングロード(B2F、車両通行通路)で行うこと。リングロードでは、外側を一方通行で走行すること。集団走での練習は厳禁とする。また、安全には十分注意すること。

### 5. アスリートビブスについて

- 1) 主催者指定のアスリートビブスを2枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。
- 2) アスリートビブスの地色・数字は、男女ともに白地・黒数字とする。
- 3) 招集時に腰ナンバー標識を2枚配付する。トランスポンダーが付いている周回記録用の腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。

## 6. 競技者の招集について

- 1) 招集所は、100m スタート地点後方の GATE1 (諸室図参照) に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。
- 4) 招集所の入口で、腰ナンバー標識 (2 枚) および荷物運搬袋を受け取ること。
- 5) 点呼の際には、アスリートビブス、ユニフォーム、腰ナンバー標識、シューズ、商標のチェックを行う。
- 6) 代理人による点呼は一切認めない。
- 7) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリアへ持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態 (機内モードなど) に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 8) 招集完了時刻に遅れた場合、欠場したものととして処理するので注意すること。
- 9) スタート前に脱衣した衣類等の全ての荷物は、招集所の入口で配付する荷物運搬袋に入れ、氏名、所属団体名を記入し、競技役員が指示した場所に置くこと。これらは競技役員によってフィニッシュに運ばれるので、レース終了後に各自で受け取ること。

## 7. 欠場について

エントリー後、病気または事故等によりやむなく欠場する場合は以下のいずれかにより申告すること。

- 1) 11 月 17 日 (木) 19 時までは欠場届 (本連盟ウェブサイトに掲載) に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール (entry@kgrr.org) にて本連盟まで提出すること。  
なお、11 月 17 日 (木) 19 時までに提出された欠場届は番組編成およびデイリープログラムに反映する。
- 2) 大会当日は TIC (招集所前) に用意してある欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、TIC へ提出すること。やむを得ず大会当日に TIC へ提出できない場合は、本連盟ウェブサイトからダウンロードした欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、電子メール (entry@kgrr.org) にて本連盟まで提出すること。

## 8. 競技について

- 1) 計時はすべて電気計時 (0.01 秒) を用いて行う。
- 2) 男子は 32 分 00 秒、女子は 38 分 00 秒で残り 1 周に達していない者は失格とし、競技を中止させる。
- 3) 給水は主催者で水を準備する。給水場所はバックストレートとする。
- 4) 競技終了後は競技役員の指示に従い、速やかに競技エリアから退場すること。

## 9. 助力について

- 1) 競技エリア内における助言は競技役員であっても認められず、当該競技者への助力とみなす。
- 2) 周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。

## 10. コーチングエリアについて

コーチングエリアは、グラウンドレベルに設け、場所は GATE3 と GATE5 とする。出場団体ごとに入場人数の制限は設けないが、入場は所属団体の選手が出場している組のみとする。(チームスタッフ・競技役員 ID 所有者のみ入場可)

11. 結果発表・抗議について

- 1) 競技結果の正式発表は、大型スクリーンとアナウンスで行う。
- 2) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、大会インフォメーションにある抗議受付用紙に記入すること。その後、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

12. 商標について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を遵守すること。基準を超える商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等でマスキングを行うこと。

13. 緊急時の対応について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配しないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2022 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 競技終了後は、必ずミックスゾーンを通ること。
- 2) 入場規制について  
今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止とする。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
コーチングエリア	チームスタッフ・競技役員
グラウンド・招集所・ミックスゾーン	選手・競技役員・学生補助員・審判講習生
室内練習場	選手・競技役員・学生補助員
各諸室	競技役員・学生補助員・審判講習生
2層出場団体待機場所(コンコース)	選手・チームスタッフ・トレーナー・競技役員
リングロード	選手・チームスタッフ・トレーナー・競技役員 学生補助員・審判講習生・大会役員 後援・特別協賛・協賛・支援スタッフ

- 3) 開門時刻を 10 時 30 分、閉門時刻を 21 時とする。

- 4) 車両について  
各団体車両の競技場内の侵入は禁止とする。事前に駐車券の交付を受けた車両は、競技場内地下駐車場を利用すること。
- 5) 盗難・紛失について  
主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない（遺失物等は大会インフォメーションで保管するが、全競技終了後1時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する）。
- 6) 各自で出したゴミは、必ず持ち帰り処分すること。
- 7) その他不明な点は大会本部まで問い合わせること。
- 8) 併せて、今大会新型コロナウイルス感染症対策申し合わせ事項を参照すること。

関東学生陸上競技連盟